

◆ ビロードモウズイカ

◆ アンケート調査結果より

ビロードモウズイカは 18 件の報告がありました。

ほとんどが那須塩原市内の幹線道路沿いや、周辺の住宅地からでしたが、県道 266 号（通称塩那スカイライン）の塩原側からも報告がありました。塩那スカイラインは完成から現在まで不通であり、不通区間の手前までも集落などが無い、**何もない行き止まりの山道**です。そのため人の出入りも極端に少なく、市街地で発見された環境とは異なるように見えます。

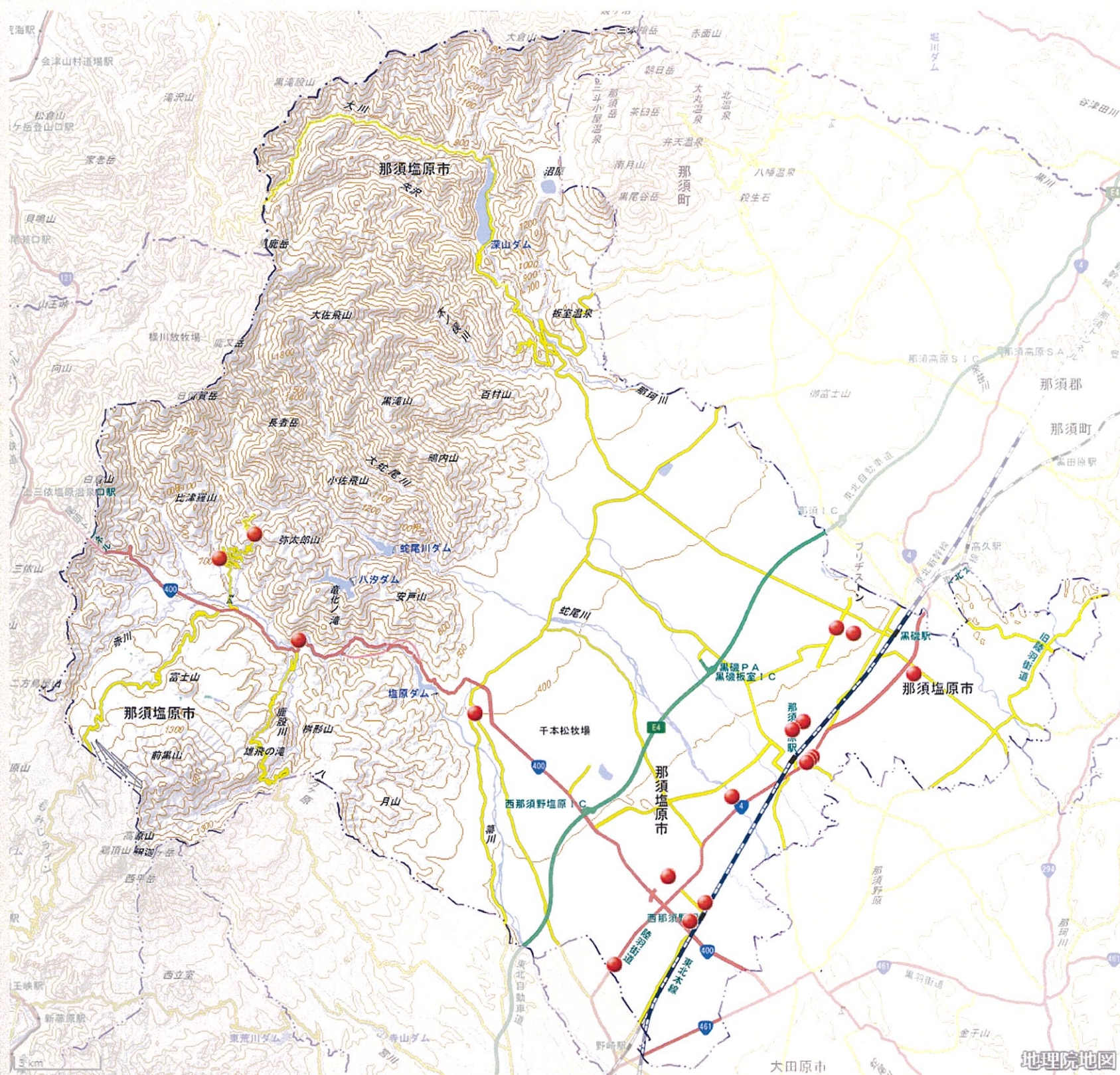
これらの場所にどうやって侵入したのかについてですが、人間の生活がほとんどない地域からも確認されていることから、**故意に持ち込まれたものではなく、道路工事などで他の地域から運ばれてきた土の中にタネが入っていたのではないかと考えられます。**



県道 266 号の法面に生えた
ビロードモウズイカ

◆ ビロードモウズイカ

◆ 報告のあった場所



● 確認地点

◆ アオマツムシ

◆ アンケート調査結果より

アオマツムシは 89 件の報告がありました。

主に東北自動車道以東の幹線道路沿いや住宅地からの報告でしたが、高速道路以西からも 2 件報告がありました。

分布の状況がおおよそ連続的であることから、本種が自力で移動し、生息域を広げている可能性が考えられます。また標高 500m 以上の地域からの報告はありませんでした。

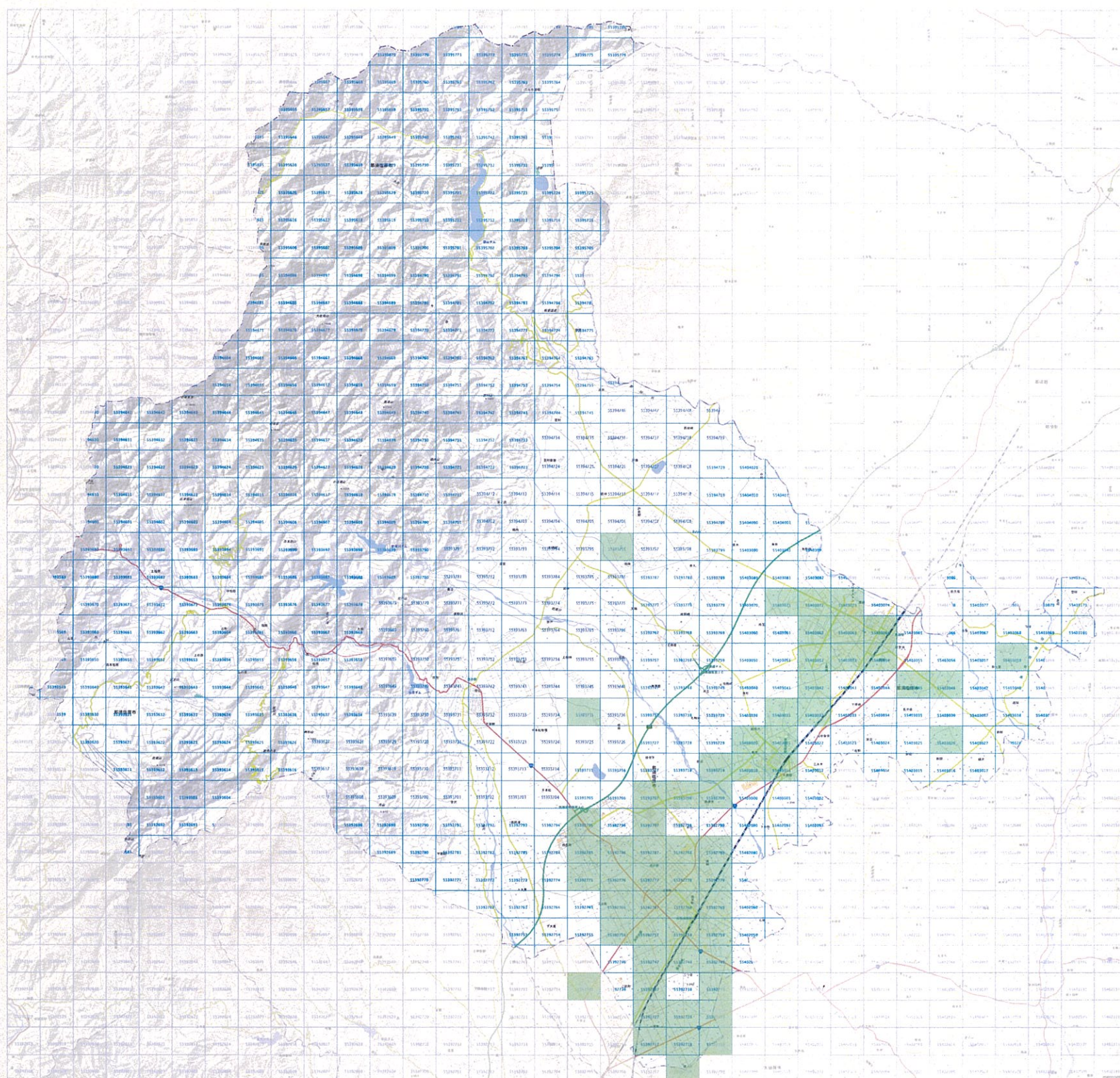
今回報告された地域の広さから、**本種は早い時期から那須塩原市に分布していたのではないかと考えられます。**

また、もともと暖かい地域の生きものと考えられていますが、近年では青森県からも報告例が上がっています。このことから塩原や板室など標高の高い地域からの報告がなかった点について、**気温の影響で生息していないとは考えにくいところがあります。**

今回の調査で多く報告のあった市内一部地域は人口密集地であり、人の目の多さが平野部での報告の多さにつながったとも考えられます。また、本種は人口の多さを問題にせず繁殖できることも窺い知れます。

❖ アオマツムシ

❖ 報告のあった地域



■ 確認地域（1 辺が約 1km の 3 次メッシュ）

◆ アメリカザリガニ

◆ アンケート調査結果より

アメリカザリガニは6件の報告がありました。

主に那珂川周辺の水辺からの報告でしたが、那須野が原博物館の敷地内の池からも報告がありました。敷地内の池のような止水環境から、田んぼ脇の湿地のような場所、小さな用水路、そして流れの速い那珂川本流と、幅広い環境で確認されました。また、例年行っている鳥野目河川公園でのウチダザリガニ駆除調査でも多くの本種が確認されています。

報告数は少ないですが、幅広い環境で確認されていることから、もっと多くの場所に生息していることが疑われます。

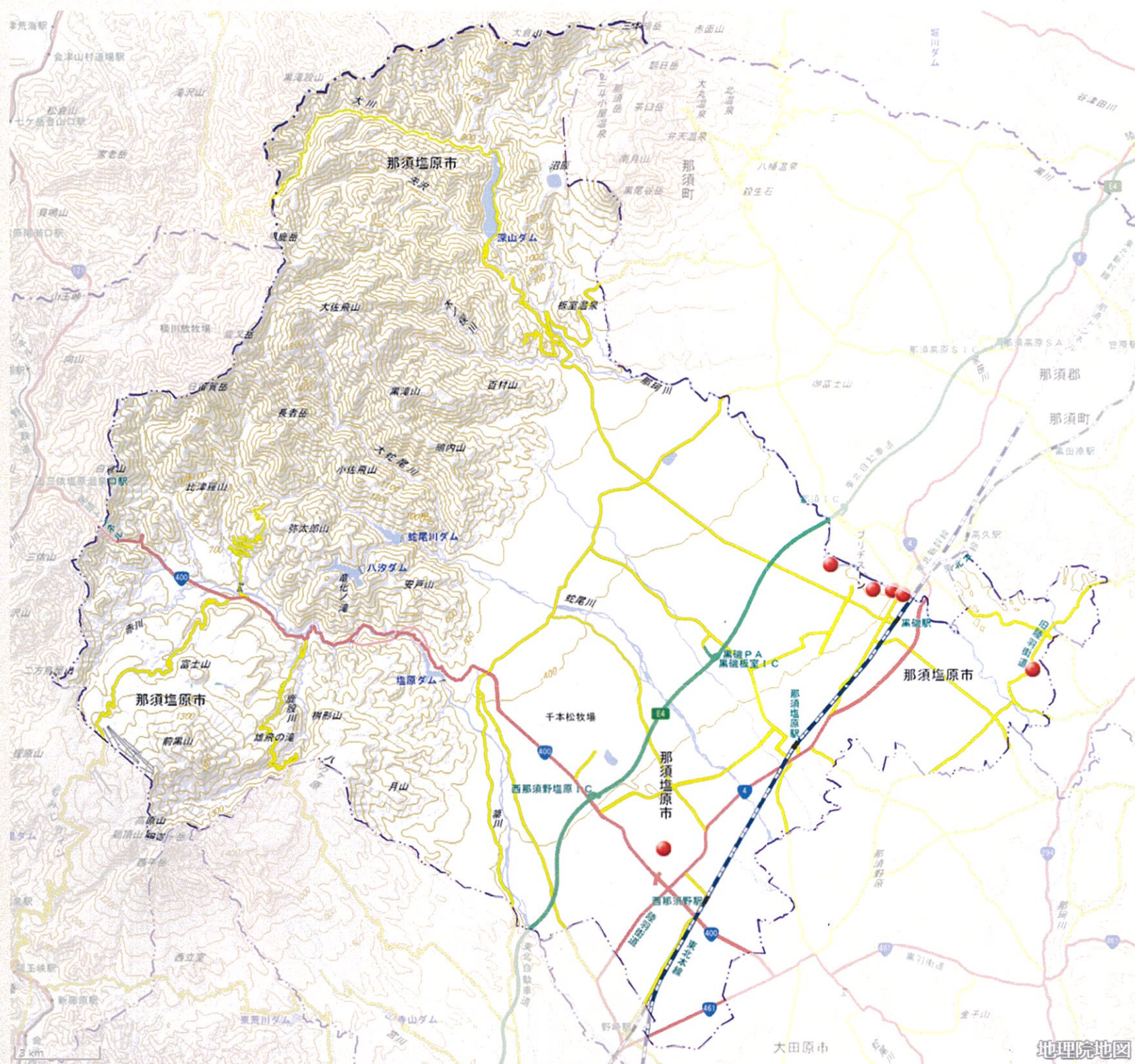
本種は完全な駆除が難しく、一旦侵入を許してしまうとその地域に生息し続けてしまいます。そこで、まずは侵入している地域、していない地域を正確に把握し、**侵入していない地域をどのように守っていくかを考える**ことも大切かもしれません。



鳥野目河川公園での
ウチダザリガニ駆除調査の様子

❖ アメリカザリガニ

❖ 報告のあった場所



● 確認地点

◆ ミシシippアカミミガメ

◆ アンケート調査結果より

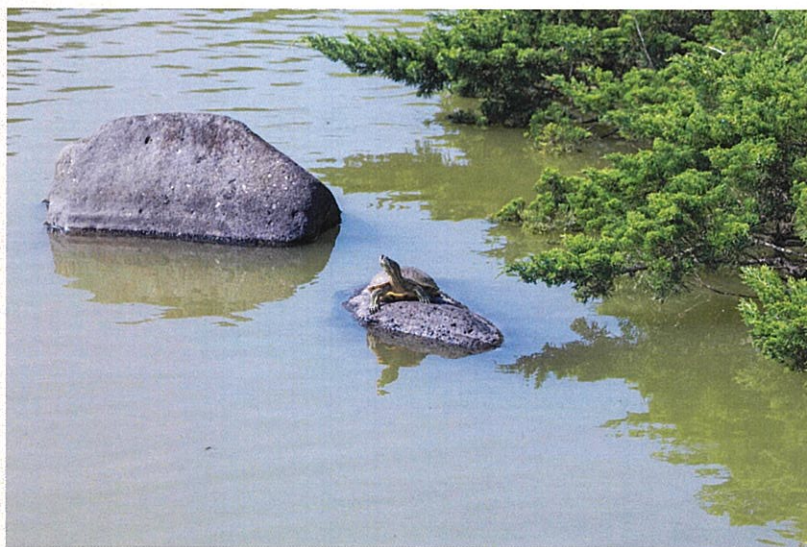
ミシシippアカミミガメは3件の報告がありました。

それぞれ、那珂川河畔公園・那須野が原公園・烏ヶ森公園の池からの報告でした。どの池も水の流れはなく、水深が50cm以上あるような池です。

那須野が原市内には同様の環境が他にもありますが、ため池などからは確認されませんでした。また、同じく外来種のクサガメの報告が越堀のため池と乃木神社の静沼から報告がありましたが、同地域から本種を見つけたという報告はありませんでした。

本種は水の流れが緩やかでやや深い水深の河川・湖沼を好む傾向がありますが、市内の自然水域にはそのような場所が少ないため、河川などには分布していないのかもしれませんが。

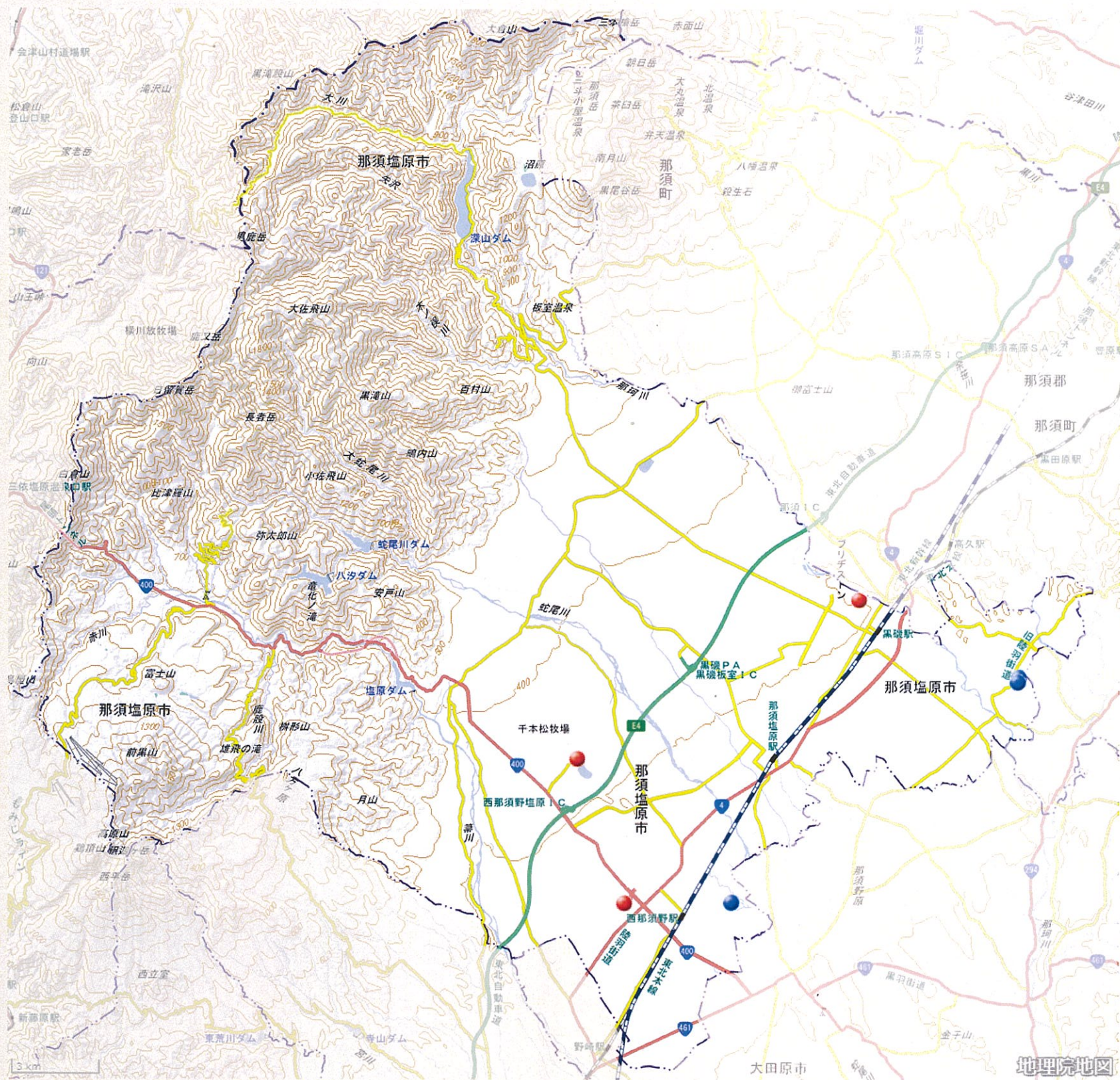
クサガメと本種は生息環境に共通点が多くあることから、クサガメが見つかった場所には本種が生息している可能性が考えられます。



那須野が原公園の池で日光浴をする
ミシシippアカミミガメ

❖ ミシシippアカミミガメ

❖ 報告のあった場所



● ミシシippアカミミガメの確認地点

● クサガメの確認地点

◆ ニホンヤモリ

◆ アンケート調査結果より

ニホンヤモリは 3 件の報告がありました。

2 件は屋内、1 件が屋外の道路沿いからの報告でした。

本種は 1975 年に宇都宮市で確認・報告されており、以降は主に佐野市で報告されていましたが、これまで那須烏山市以北からの報告はありませんでした。また、2002 年に大阪市立自然史博物館が実施した全国を対象にしたアンケート調査では、栃木県は「**文献などによる報告はあるが、アンケート回答者（2002 年調査での）は見ることがない**」という結果でした。

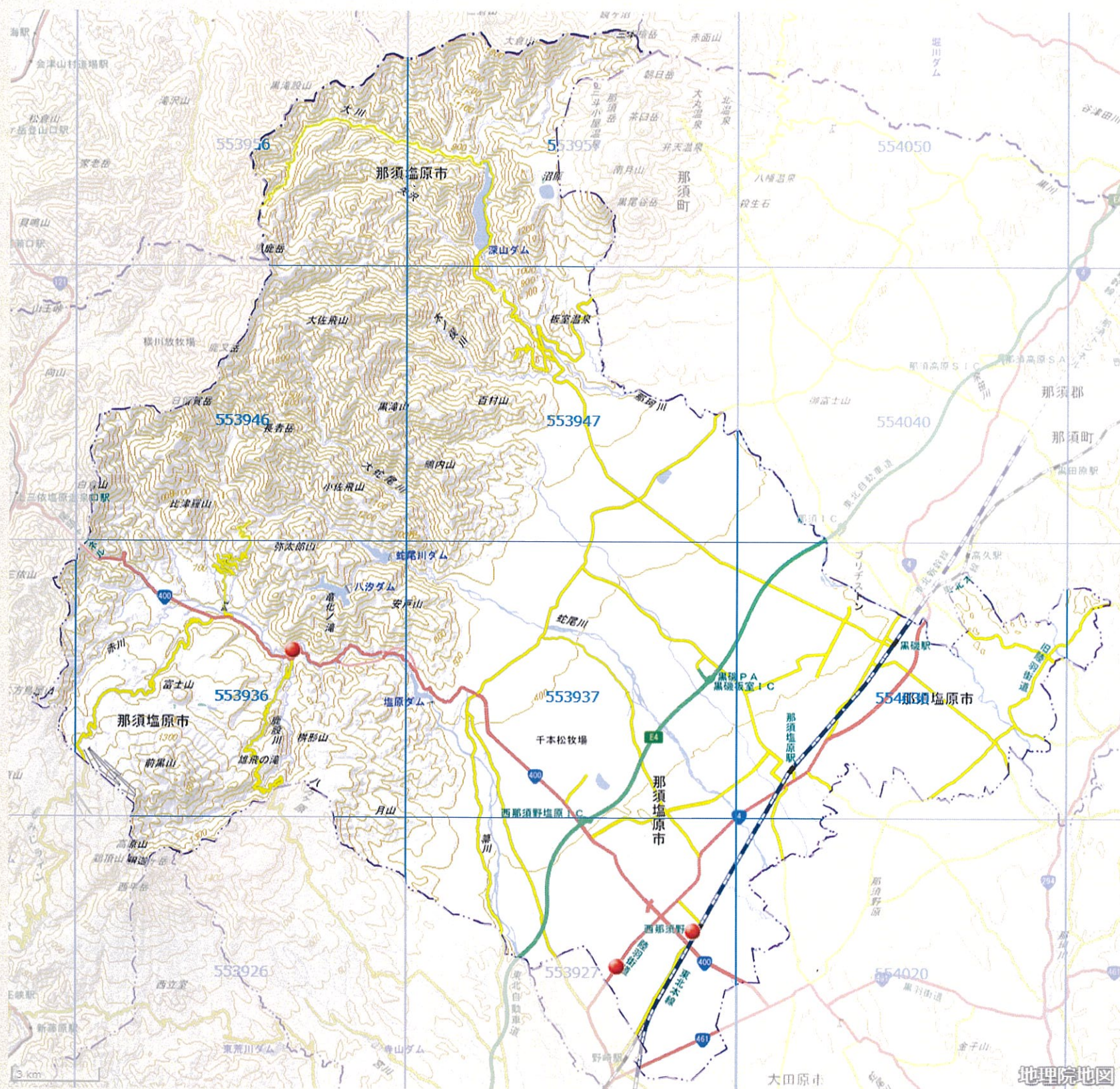
今回の調査結果から、本種は少なくとも那須塩原市に生息していることがわかりました。さらに人口密集地だけではなく、塩原の温泉街からも報告されました。ですが報告数は少なく、それぞれが大きく離れていること、人工物を好む傾向があることから、**自然に移動したのではなく、荷物などについて運ばれていった可能性が考えられます。**



横から見ると案外かわいい顔をしているニホンヤモリ

◆ニホンヤモリ

◆報告のあった場所



● 確認地点